

2月 幼児部だより

令和3年2月25日発行 洗足池保育園



温かい陽が差し込み、少しずつ春の陽気が感じられるようになってきました。戸外で梅の花や植物を見つけると、「もうすぐ春になるね!」と春の訪れを子ども達も楽しみにしていますよ。

そして、今年度も残りわずかとなりました。1日1日を大切に、楽しく充実した日々が送れるよう、子ども達を見守っていききたいと思います。

今月の1コマ



一緒に桜山で遊んだの
楽しかったな!!
また、お散歩行こうね!



ずっと作ってみたいかった
お皿型のアロマワックスバー
を作ったよ☆



2月生まれのおともだち



3月のうた

- ・うれしいひなまつり
- ・せんせいとおともだち
- ・1年生になったら



発表会を楽しみにする子ども達。「パパとママはいつ観に来るの?」「早く発表会の日来ないかな!」と話しながら、日々取り組んでいます。特に劇遊びが好きなので、子ども達から「まいごのたまごの練習したい!」と言っています。塗り絵をして作った自分のお面をかぶると、喜んで役になりきっています。また、舞台に登場する時の動きも子ども達で考えました。登場する時の動きを気に入っているようで、自分の番は今か今かと楽しみに待ち、嬉しそうに登場しています。とても可愛らしいので、楽しみにしてください! 始めは舞台に立つと小さな声でセリフを言っていた子も、今では大きな声で堂々と言えるようになりました。また、『まいごのたまご』の絵本が大好きで、毎日読んでいたからか、友達セリフも覚えていて、こっそりと教えてあげる優しい姿も見られていますよ。自分達で動きを考え、舞台に立って楽しんで表現する姿を見て、とても成長を感じます。当日は緊張してしまう子もいるかもしれませんが、優しく見守っててください。



今月は、節分・豆まきがありました。実はその日に向けて、春頃から鬼が来た時の退治方法について、友達同士で作戦会議を開いていました。そして当日の朝。沢山作戦会議をしていた子ども達でしたが、やっぱり鬼は怖いようで、「今日って鬼が来る日?」と言い、朝からソワソワしている様子でした。すると一人の子が、「今、コロナウイルスがあるから来ないんじゃない!」と言っていました。それを聞き、「そっか! 鬼もコロナウイルスになったら大変だから、きっと来ないね!」と話していましたよ! しかし、保育者に「鬼はコロナウイルスでも来る」という事を聞くと、がっかりとした表情を浮かべる子ども達なのでした。鬼を怖がる子が多かったのですが、中には「鬼が来たら、先生は僕が守るよ!」とたくましい一言を言ってくれる子がいましたよ♪ 豆まきでは、怖がりながらも豆を一生懸命投げて、鬼を退治していました。また、升の中に入っていた豆がなくなると、床に落ちている豆を拾い集め、鬼に向かって思いっきり投げる子どももいましたよ。鬼を退治すると、ほっと一安心する子ども達なのでした♪



節分には、皆が健康で幸せに過ごせるように、悪いものを追い出す日という意味が込められています。今年も健康で幸せに過ごせますように。